



## 年頭雑感



パリ8区モンテーニュ通りのタクシースタンドでタクシーに乗った。スマホがないのでウーバーは使えない。そもそもウーバーは、創業者がパリでタクシーを捕まえられなかったところから今のシェアエコノミーのアイデアが出てきたと聞いた。

運転手は若い男なので聞いてみた。「Station Fは知ってるか?」「知らないが場所は(見せてくれた)地図で分かる。それは何か?」「昔の駅舎を改装してstartupを育成するための施設にしたもの。3か月前、オープニングにマクロン大統領も駆け付けたので新聞報道があったはずだが。」「("startup"という単語がそこだけ英語だけに聞き取れなかったらしく、"entrepreneur"と言い換えてやると、)ああstartupね。その記事なら読んだことがある。そういう施設はフランスに必要だと思う。」

車はセヌ川沿いに右岸を南東に向けて走る。晴れ渡る秋空の下、明けた窓から吹き込む風が心地いい。ちょうど昨夜セヌ川を遊覧する船が向きを変えたあたりで橋を渡る。このあたりはオステルリッツ駅のそばで、パリ13区になる。少し行くとタクシーは停まった。「左のその道か、もうひとつ後ろの道を行けばStation Fに出られる。」

正解はもうひとつ後ろであった。5メートルほど歩くと玄関が見えてきた。建物全体がほぼガラス張りの中の様子が見える。"International Summit for Change"というイベントが開催され、ネームタグをぶらさげた参加者たちが入場するための荷物検査を受けていた。駅舎だけあって長さは300メートルを超え、中に起業家3千人を収容するスペースを用意しているという。テックラボにはレーザーカッターや3Dプリンター、NC工作機械などがあり、試作品製造もできるようになっている。ぐるっと一回りしてみると、建物の端に予定されているレストランはまだ建設中で、セメントや土を入れた大きな袋が無造作に置かれていた。来場者は外のサンドイッチやホットドッグの屋台を利用していた。スマホで使える自転車も20台ほど並んでいた。3千人の起業家が四六時中同居してイベントにも一緒に参加していれば、自然と交流が生まれ、シリコンバレーにおけるようなカオス状態となり、その中からイノベーションが生まれてくるに違いない。創設者の想いはそこだろう。

年頭に当たり、昨年9月29日を思い出し、東京にもそのような施設が必要ではないのかと改めて思う。

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター  
理事長 市川隆治

## 伝統と革新 — 企業家としての「世阿弥」 —

あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

改まったこの時期に新しいアイデアを皆様に生み出していただくために、「温故知新」の故事にならって、企業家の先達として世阿弥を取り上げご紹介したいと思います。

能楽は、2008年にユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界無形文化遺産に登録された日本の伝統文化です。能楽は輸入品として他国から伝来した完成品的な文化ではなく、現代的に表現すれば、室町時代に誕生した新しいエンターテイメントでした。そして当時は、複数の能楽師が率いる有力な「座」が関西圏には複数あり、競争がとて激しかったのです。そんな状況の中で、世阿弥は自ら能楽師として舞台に立つだけでなく、「観世座」の経営を担い、現代でも演じられている多くの能楽の演目も作っています。さらに、芸能論として有名な『風姿花伝』をはじめ生涯に20冊以上の本を書き自分の考えを後世に伝えていきます。この『風姿花伝』には、新しいビジネスをいかに伸ばすのか、組織の要である人材育成のポイント、さらに経営者としての適性は何かといった記述があるのです。まさに室町時代に新規コンテンツ産業を構築した企業家世阿弥が残した、一流のビジネス書と言えます。

さて、そのポイントは4つあります。1点目はビジネスの付加価値を生み出す「ヒト」を可変性の高い資源として捉えていることです。円滑な技能育成のためにキャリア形成のプロセスと課題を明確に記述しています。2点目はマーケティングです。観客や演じる場に応じた技能発揮の重要性を指摘し、市場の状況に対応した価値提供という発想をもつ重要性を指摘しています。3点目は、新しい製品・サービスの創製です。自ら能楽の楽曲を作ること、つまり新製品を作ることこそが、競争に打ち勝つための源泉だと語っています。4点目は組織継続の視点です。経営者の資質を技能レベルから判断せず事業の本質を理解しているかが重要であるとし、現場のスキルと経営者のスキルを切り分け、評価しています。さらに次の経営者の選定について、血縁より経営能力の高い人を選ぶことが事業継続の要諦であるとしています。

600年以上前に世阿弥は、非常に合理的にビジネスの価値創出と事業継続について考えていました。父親阿弥とともに能楽を育て、さらに練り上げて事業として確立していくプロセスを経て、世阿弥は一流の企業家として磨かれたのです。日本の伝統文化の背後に根付く世阿弥の考えを、皆様にも活用していただけると、うれしく思います。

京都女子大学 現代社会学部  
現代社会学科 教授  
経営学博士 西尾久美子

◆「ベンチャー白書2017」発刊中!!  
ベンチャー白書2017 発売!

	発行日	媒体	定価	発行場所
電子版	2017年11月8日	PDF+エクセル	5,400円(税込み)	・VECのHP ・DLマーケット
冊子版	2017年11月22日	紙製本	5,400円(税込み)	・全国の書店 ・オンライン書店

※お申込みはVEC東京本部(TEL:03-3230-8902)又は関西支部(TEL:06-6263-0366)でも受付しております。



# 輝いているビジネスウーマンの新春座談会

VEC会員のクラージュ総合会計事務所（代表・長谷川治雄氏）スタッフの中から女性を代表して3名の方による新春座談会で女性活躍のヒント等を伺いました。進行役もVEC関西支部女性スタッフが担当しまして大いに盛り上がりました！  
今年も良い年であることをお祈りしております。



新しい年を迎え、今年の目標や夢は・・・。



（司会者） 皆さん、あけましておめでとうございます。

「おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。」



（司会者） はじめに、1年のスタートを切り今年の抱負や心機一転こんなことをチャレンジしたいとお聞きしたいです。



「日々仕事に追われる毎日の中で、気がつけば時間だけが過ぎていく・・・時もあります。その日々の中でも今自分に何が出来るのか。またはしたいのか。と意識を高く持っていきたくと思っています。（ア）」



「税理士の仕事は数字の世界で数字は目にみえるものでありますが、様々な場面でクライアント様からの信頼感を得て、名指しで任されるように心がけて行きたいですね」



「今年は税理士の試験に、合格するように頑張りたいです。」

（司会者） お仕事以外の目標など他にありますか。



「将来高齢化が進む中で、高齢者向けのアイデアを出してそれを活かすビジネスもあると思っています。」



「私はビジネスにとって一番大切な事は人脈と思っているので、今年はそのために出会いの場へ積極的に参加したいです。」



「女性特有のまじめさ（気遣い、気配り）、仕事の手早さ、協調性を活かして昨年よりステップアップした仕事を目標したいと思います!!」

気持ちを上向きにするには・・・。

（司会者） 専門知識をもちキャリアウーマンとしてバリバリ活躍されておられますが・・・とは言っても本音のところ気持ちが弱気になる時ってありませんか？



「仕事ではミスが無いのが前提ですのでミスして落ち込むことはありませんが 新人の時がありましたよ・・・」

（全員） 「それは皆経験してるよね～」



「私はクライアント様へのダブルブッキングがありましたね。自分ではきっちりスケジュール管理していても・・・先方から電話があり焦りました。」



「当初はクライアント様から何か問題があると担当者ではなく直接先生に連絡が入る。要するにまだ信用度が足りないんだ。という気持ちがありました。でも新人であろうと先方は専門家として見ておられる。」



「仕事で「わかりません」という言葉はどの仕事でも通用しないでしょ。まず問題がおきたら先生に相談に行っても、まず「あなたはこの問題についてどう思っているのか」と自分の意見を重視されます。だから自分の考えをまとめて先生へ説明に行っております。」

（全員） 「どの社会でも同じやね。」

（司会者） でも、落ち込んだ時の対処法ってありますか。



「私、落ち込んで一晩寝たら忘れるタイプ。。ウフッ(笑)」

（全員） 「幸せもの～。(笑)」



「正直に事務所の皆さんにも二度とおこさないように例として定例ミーティングで発表します。だから定例ミーティングは何でも言える場として大切なんですよ。」



「私はどちらかと言うと以前から同じ職場の同性より異性に相談します。男性の方が的確にアドバイスをくれるんですよね。思ってもいない解決方法を教えてくれたり・・・」

「自分磨き」に邁進していることは・・・。

（司会者） 毎日、お仕事で充実した日々を送られていらっしゃる(笑)皆さんですが仕事以外で今年新たに「自分磨き」をしたいことがあれば教えてくださいませんか。



「仕事以外にスポーツで体力づくりを定期的に行なっています。今後は手話の勉強もしたいと思っています。」



「今の資格を活かせるように、関連したセミナー、勉強会へ極力定期的に参加しています。私の経験上女性の社会人には仕事以外何かの資格を取るのを勧めます。」



「今、どこを見てもスマートフォンとにらめっこの男女ばかり。(笑)～ですので、月1冊本を読む様にしています。」



「美味しいものを「食べることが大好き」。私は良いお店を発見すると即行ってみる様にしています。また1年に1回は自分へのご褒美として高級なお店に行き、モチベーションアップにつなげています。エヘヘッ!!」

<話しは絶えることなく続きました。>



（司会者） では今年もお互い仕事もプライベート(?)もがんばりましょう!!

「は～い、皆さんこちらこそ本年もよろしくお願い致します。」



～お知らせ～

◆女性起業家応援プロジェクト「LED関西」のビジネスプラン発表会のお知らせ

第4回の発表会は下記のとおり開催されます。ご参加希望される方はVEC関西支部へご連絡下さい。

- ・開催場所：2018年1月24日(水) 14:00開始予定 ・場 所：グランフロント大阪(大阪市北区)・大阪コングレコンベンションホール
- ・女性起業家ファイナリスト10名がビジネスプラン発表

◆てんこもり発刊月の変更について

従来皆様のご協力により毎月発刊しておりましたが1月号以降は3ヵ月毎(次回は4月号)の定例発刊としまして、それ以外は必要に応じて特集的な編集を予定しております。  
引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。

～VEC関西より～



・向こう3ヵ月の西日本の長期予報は平年並みとか～でもこのところ年のせいかとも寒く骨身に伝えます。景気もAIやIoTなど新聞は騒いでいるものこのこれと言った物はなさそうです。自動運転車もまだまだ時間がかかりそうで、まだ難しそうです。正月はアルコールにでも浸り新年をスタートします。(本田)

・明けましておめでとうございます。今年も昨年同様、それ以上によりしくお願い申し上げます。今年も家族が増える予定で・・・まだまだ頑張るウーマン(大阪のおばちゃんパワー)でワン! ダフルな一年にしたいと思っています!(藤本)

・新年おめでとうございます。新年号ではビジネスウーマンの話題ではじまり女性の日々仕事への頑張りを再確認して頂きたいです。今年は「戌年」。個人的にも犬のようにお茶目で愛される存在になりたいです。こんな私ですがよろしくお願い致します。(濱本)

・お陰様でVECは今年7月で創立後43年目を迎えます。新年1月号は年頭にあたり市川理事長の雑感と素敵でポジティブでご活躍中の女性の方々からも思いを語っていただきました! 戌年も若いチャレンジャーをまき込んでお役に立ち、ベンチャー精神溢れるVECを目指して参ります!(澤村)

<交流会の予定>

- 2018年2月9日(金) 新年交流会  
本田技研工業株式会社 主幹 溝端 健二 様 (本社 東京都)
- 2018年3月15日(木) 株式会社トライエッティング  
代表取締役 長江 祐樹 様 (本社 名古屋市)

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階  
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293